

～分子量制御・共重合設計と重合プロセスの実務課題への対応～

ラジカル重合・リビング重合の基礎とポリマー材料設計への応用

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/2605125>

- ◆日時：2026年05月26日（火） 10:30～16:30
- ◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）
- ◆聴講料：1名につき55,000円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

- ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円（税込）
- ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で55,000円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：徳島大学 名誉教授 工学博士 田中均 氏

【習得できること】

- ・ラジカル重合の反応機構と重合プロセスの基礎理解
- ・リビングラジカル重合の原理と適用例
- ・分子量を狙って制御するための考え方
- ・共重合の組成設計とモノマー反応性の理解
- ・残存モノマーや異常構造ポリマーなど重合トラブルの原因把握と対策の考え方

【講座の趣旨】

ラジカル重合はビニルポリマーの80%以上を製造する重要な反応です。

本セミナーではラジカル重合の研究、技術指導に50年余り携わってきた講師がその基礎から最新の情報、技術手法までを解説します。特に近年、基礎データおよび基本概念の見直しが進むとともに、従来は困難であった分子量の制御がリビング重合によって可能となってきています。

本講では、はじめての者から実際に課題に直面している技術者、研究者を対象に、ラジカル重合及びリビング重合の基礎を中心に、課題の克服、応用展開について具体的に解りやすく話します。

【プログラム】

1. 重合の基礎
 - 1-1 基本用語
 - 1-2 重合の分類
 - 1-3 素反応(基本4反応)
 - 1-4 重合速度と分子量の解析
 - 1-5 重合操作法
2. 単独重合の反応機構
 - 2-1 重合に適するモノマーの特徴
 - 2-2 開始剤の種類と選び方(熱開始剤・光開始剤)
 - 2-3 成長反応と反成長反応
 - 2-4 停止反応と停止機構
 - 2-5 連鎖移動反応と機能化連鎖移動
 - 2-6 禁止反応(脱酸素法、酸素・キノンの影響)
3. 共重合の組成設計
 - 3-1 共重合の種類と特徴
 - 3-2 共重合の解析(モノマー反応性比)
 - 3-3 モノマー構造と反応性(Q-e値)
4. リビングラジカル重合による分子量制御
 - 4-1 これまでの分子量制御法
 - 4-2 分類と特徴
 - 4-3 原理
 - 4-4 具体例と課題
 - 4-5 新展開
5. 重合プロセスの課題と対応
 - 5-1 残存モノマーの除去
 - 5-2 滴下共重合における滴下時期
 - 5-3 異常構造ポリマーの生成
 - 5-4 見落としがちな問題

『ラジカル・リビング重合【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属・役職	E-mail	
①			
②			

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、(土日祝日を除く)8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録（無料） Eメール 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。